様式4

都市再生整備計画　フォローアップ報告書

八橋周辺地区

平成31年3月

愛知県知立市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	観光ガイドツアーの参加者数	人／年	1,370	1,490	1,670	確定 見込み　●	○	あり なし	1,560	H30.9月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	かきつばた祭及び花しょうぶ祭開催時に、観光シャトルバス運行の社会実験を実施したほか、主要観光施設への安全なルートで案内誘導するための看板設置、多目的トイレ及び駐車場整備を行い、また、歴史案内散策マップを配布した。ハード面・ソフト面で来訪、観光しやすい環境を創出し、結果として観光ガイドツアーの参加者が増加した。
指標2	地区内の1人当たりの公園面積	㎡／人	3.1	3.3	3.4	確定 見込み　●	○	あり なし	3.4	H30.4月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	才兼池公園の新設を含めた公園・緑地整備を進めたことで1人当たりの公園面積が増大した。地域住民の憩いの空間として利用され、地区の魅力向上につながった。
指標3	交通事故件数	件／年	109	100	98	確定 見込み　●	○	あり なし	86	H30.4月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	地区内道路の交差点部や歩道未設置区域内において、カラー舗装化等の安全対策が実施されたほか、案内看板の設置等により、主要観光施設への安全な歩行ルートを誘導することで交通事故件数が減少した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H　年　月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入　　※フォローアップの必要のある指標について記入　　※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1				／		確定 見込み	／	／		H　年　月	／		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2				／		確定 見込み	／	／		H　年　月	／		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3				／		確定 見込み	／	／		H　年　月	／		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入　　※フォローアップの必要のある指標について記入　　※全ての指標について記入

２. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

<table>
<tr><th colspan="2">事後評価シート　添付様式5－③に記載した
今後のまちづくり方策（事項）</th><th>実施した具体的な内容</th><th>実施した結果</th><th>今後の課題　その他特記事項</th></tr>
<tr><td rowspan="4">・成果を持続させるために
行う方策</td><td>点在する観光資源における情報提供の維持・充実</td><td>・観光交流センターを整備し、観光資源における情報提供の維持・充実。</td><td>・観光交流センターでは観光客が周遊して観光できるように情報提供の維持・充実を図った。</td><td>・利用者を増やすために観光交流センターのPRをする必要がある。</td></tr>
<tr><td>観光資源の魅力向上</td><td>・かきつばた園の花の生育不良を改善するために井戸や土の改良作業を実施。
・ガイドボランティアの育成。</td><td>・例年よりもかきつばたの生育不良が改善された。
・ガイドボランティア養成講座を実施した。</td><td>・今後も観光資源の魅力向上を目指し、事業を継続していく。</td></tr>
<tr><td>整備した公園における利便性と憩い環境の持続的な提供</td><td>・公園の維持管理を継続するとともに、地域住民による新規愛護会設立を促進。</td><td>・公園の維持管理を実施した。また、新規愛護会設立を目指し町内会に働きかけた。</td><td>・新規愛護会設立に向けて、引続き地域住民に働きかけていく。</td></tr>
<tr><td>安全な歩行空間の維持・創出</td><td>・安全性が懸念される区間に対する交通安全対策の検討。</td><td>・安全な歩行空間の確保に向け、危険箇所等に関する継続的な情報収集に努めるとともに、対象箇所に対する安全対策を検討していく。</td><td>・継続していく。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">改善策

・まちづくりの目標を達成するための改善策
・残された課題・新たな課題への対応策
・その他　必要な改善策</td><td>八橋周辺の交通ネットワーク構築による流入交通等の円滑化</td><td>市道八橋町109号線（（都）花園八橋線）及び市道八橋来迎寺5号線（（都）八橋東西線）の整備</td><td>・隣接市との連続性を高めるため、道路整備を行っていく。</td><td>・隣接市との連続性を確保するために継続して整備を進めていく。また、隣接市との連続性が高まることで流入交通の転換がされ、地区内の通過交通が減少し更なる安全性の向上が期待される。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項

都市再生整備計画（第4回変更）

やつはししゅうへんちく
八橋周辺地区

あいち　ちりゅうし
愛知県　知立市

平成30年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	知立市	地区名	八橋周辺地区	面積	540 ha

計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度

目標

大目標：人々が安心して集い、地域の歴史・文化を感じながら楽しい時間を過ごせる地域づくり
小目標：①人々に安らぎを与える公園や歴史が薫る回遊性の高い道路空間の創出による、交流豊かなまちづくり
小目標：②自動車交通の円滑性と歩行者の安全性が確保され、全ての人が安全に安心して生活できる交通環境づくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■本地区に立地する「八橋かきつばた園」は、園内に5,000㎡のかきつばた池を有し、およそ3万本ものかきつばたが植生している。また、八橋地区は平安の歌人在原業平が「かきつばた」を題材に歌を詠んだことでも広く知られており、古くからのかきつばたの名勝地となっている。これらの地域資源を活用し、かきつばたが咲き誇る毎年4月～5月には「史跡八橋かきつばたまつり」を開催するなど、多くの観光客が訪れている。

■本地区には、『八橋かきつばた園』や『落田中の一松』などの「観光・交流」拠点や旧東海道・鎌倉街道や東海道松並木などの「歴史・文化」拠点を有しており、地域住民のほか市外からの観光客に親しまれている。

■一方で、魅力的な地域資源が点在しているものの、その地域資源を結ぶ旧東海道・鎌倉街道に地域資源を案内・誘導する施設が十分でないことから、地域資源を身近に感じる回遊性が十分に確保されていない状況となっている。また、旧東海道・鎌倉街道は狭あいな道路が多く、観光客や地域住民の安全な歩行空間の確保が望まれている。

■本地区の幹線道路網については、平成6年度に南北軸としての駒場牛田線を都市計画決定し、平成14年度に花園八橋線、八橋里線を決定している。八橋かきつばた園などの観光地へのアクセスや今後のまちづくりに必要な道路として、駒場牛田線や花園八橋線などは位置付けられており、早期整備が望まれている。

■地区内の主要道路や生活道路については、幹線道路との交差部で朝夕ピーク時に渋滞が発生しているほか、既存住宅地周辺の生活道路に流入交通が多いため歩行者との交錯による交通事故が懸念される箇所も見受けられているなど、安全な歩行空間の確保に向けた安全対策が望まれている。

■本地区は、平成19年度から平成23年度の5年間、都市再生整備計画事業により、「うるおいとやすらぎのある観光地周辺のまちづくり」を進めてきた。これらの整備により、防災機能の強化や交通環境の改善などの地区の安全性向上が図られたほか、『八橋かきつばた園』や『かきつ姫公園』などの観光資源の整備により観光施設の利便性向上を図った。しかし、施設整備は順次進められたものの観光客数の増加には繋がっていない状況であり、観光施設周辺の交通安全性の向上や観光周遊ルートの整備のほか、更なる安らぎや憩いの空間の創出など、継続的な取組みがまちづくりの課題として残っている。

■また、本市は、「安全に暮らせるまち」をめざし、震災に強い公共施設の整備をはじめ、市民とともに防災訓練の実施、緊急連絡体制の整備、災害弱者を守る地域体制づくり、住宅耐震診断など自主防災体制の強化に取り組んでいる。

課題

●観光客が地域に点在する観光資源を安全に分かりやすく周遊できる案内誘導施設等の充実が必要。
●安らぎや憩いの場となる公園等の整備や既存公園の利便性向上が必要。
●住宅地開発・人口増加に伴って増加する自動車交通に対応した地区内外及び近隣都市を連絡する幹線的な道路の整備の推進が必要。
●地区内には狭隘で見通しの悪い道路や自動車と歩行者との交錯による事故が懸念される箇所が点在するため、運転手への注意喚起等の交通安全対策が必要。

将来ビジョン（中長期）

（総合計画における将来ビジョン）
〇やさしいまちの実現を図るため、公共施設の耐震補強など災害発生時における市民の生命と財産を守る体制を強化し、安全に暮らせるまちづくりを進める。
〇人々が集う交流のまちを実現するため、旧東海道や無量寿寺（八橋かきつばた園）などの地域資源を活かした魅力ある拠点づくりを進める。
〇幅広い世代が暮らすまちの実現を図るため、人にやさしい道路の整備や移動しやすい交通環境の充実などを進める。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光ガイドツアーの参加者数	人／年	観光ガイドボランティアを活用した観光客数	観光ガイドツールとなるマップの活用による観光資源の回遊性向上や観光資源周辺の交通利便性向上に資する整備により、観光客の増加を目指す。	1,370	H23	1,490	H29
地区内の１人当たりの公園面積	m^2／人	対象地区内における人口１人当たりの公園面積	地域住民の憩いの場となる新たな緑地空間を整備することにより、地区内の１人当たりの公園面積の増加を図る。	3.1	H23	3.3	H29
交通事故件数	件／年	対象地区内（地区内の小学校区の単位）における年間の交通事故件数	地区内の交通環境の向上に資する道路整備等を行うことにより、地区内の交通事故件数の減少を目指す。	109	H23	100	H29

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
■整備方針1 ・交流豊かなまちづくりに向け、憩いの場となる公園の整備や観光資源の回遊性向上に資する案内誘導施設等の整備を行い、人々に安らぎを与える空間や歴史が薫る回遊性の高い道路空間を創出する。	【基幹事業】公園 （（仮称）才兼池公園） 【基幹事業】地域生活基盤施設（情報板）（案内誘導施設設置） 【提案事業】地域創造支援事業 （歴史案内散策マップ作成） 【関連事業】道路事業 （牛田町西中線） 【関連事業】公園事業 （知立公園） 【関連事業】道路事業 （牛田町20号線） 【関連事業】高質空間形成施設（カラー舗装）（道路修景整備）
■整備方針2 ・人々が安全に安心して生活できる交通環境づくりに向け、近接都市との連続性を高める道路整備や地区内道路における歩行者の安全性向上に資する施設整備を行い、自動車交通の円滑性と歩行者の安全性の確保を図る。	【基幹事業】道路 （市道八橋町109号線（（都）花園八橋線）） 【提案事業】地域創造支援事業 （観光シャトルバス社会実験） 【関連事業】道路事業 （牛田町西中線） 【関連事業】高質空間形成施設（カラー舗装）（道路修景整備）

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	567.4	交付限度額	227.0	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B／C
道路（街路）		市道八橋町109号線（（都）花園八橋線）	知立市	直	L=490m	H25	H29	H25	H29	522	522	522		522	－
公園		（仮称）才兼池公園	知立市	直	A=5,219㎡	H24	H29	H28	H29	36.8	36.8	36.8		36.8	－
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設（情報板）		案内誘導施設設置	知立市	直	3箇所	H28	H28	H28	H28	3	3	3		3	－
高質空間形成施設（カラー舗装）															
高次都市施設															
既存建造物活用事業															
連携生活拠点誘導施設															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										561.8	561.8	561.8	0.0	561.8	－

…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	歴史案内散策マップ作成	旧東海道・鎌倉街道周辺地区	知立市	直	―	H29	H29	H29	H29	5	5	5		5
	観光シャトルバス社会実験	八橋周辺地区	知立市	直	―	H26	H27	H26	H27	0.6	0.6	0.6		0.6
		－			－									
事業活用調査		―			―									
		―			―									
まちづくり活動推進事業		―			―									
		―			―									
合計										5.6	5.6	5.6	0	5.6

…B

合計(A+B)	567.4

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
道路事業	牛田町西中線	知立市	―	L=200m			○		H25	H29	144
道路事業	牛田町20号線	知立市	内閣府	L=410m		○			H25	H25	12
公園事業	知立公園	知立市	国土交通省	A=10,000㎡		○			H25	H26	13
高質空間形成施設（カラー舗装）	道路修景整備	知立市	―	L=660m			○		H25	H25	5
合計											174